



浅草岳山行報告

【山行日】2018年 6月 24(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 3:00

【費 用】マイカー2台 : 4,800円

【メンバー】CL:鈴木、石川、岩淵、大西、岡、梶内、石澤、鶴見、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P3:00=六十里登山口
P5:55/6:10~マイクロ中継局 7:10~南岳 8:00~
鬼ヶ面山 8:50~ムジナ沢カッチ 9:50~前岳 10:40

~浅草岳 11:00/11:20~湿原ベンチ 11:30/12:05~前岳 12:20~鬼ヶ面山 14:00~南岳 14:40~マイクロ中継局 15:20/15:30~六十里登山口 16:10=道の駅「いりひろせ」16:30/16:50=岩舟支所P19:30

浅草岳に登りたいと言うリクエストがあり、ヒメサユリが咲く時期に合わせて計画した。

今回はヒメサユリの花が一番多く見られる、六十里登山口からのコースを登ることにする。

ネットで事前に山行記録を見ると、登山口駐車場は6時には満車になると書いてあり、出発時間を1時間早め3時に岩舟支所を出発する。北関東道から関越道を走り、小出 IC で降り国道252号線を登山口に向けひた走る。登山口にトイレは無いので、途中の道の駅「いりひろせ」に寄り済ませて行く。登山口に着くと駐車場はすでに満車で、反対側の登山口に2台と路肩に数台止めてある。我々も路肩の最後尾に2台止め、支度を整えたら登山口に移動しストレッチを済ませ出発する。登山口からいきなり急登で、ゆっくり登り数組に追い越される。



送電鉄塔で小休止し、衣服調整と水分を補給する。

ここからさらに尾根を登ると、マイクロ基地局が立つ平らな草地に出て休憩する。しばらく平らな道を進み、尾根を登ると視界が開け右下に田子倉湖が見えてくる。南岳の登りにかかると

ヒメサユリが顔を見せ、皆さんから「ウワ〜綺麗」と歓声が上がる。花は少し小さいが、自然の花は可憐でとても美しく感じた。展望の良い南岳山頂で休憩し、雪が残る浅草岳を眺めながらトマトや菓子をいただく。ここからはアップダウンを繰り返しながらヤセ尾根を登るが、いたるところにヒメサユリの花が咲き疲れを癒してくれる。次のピーク鬼ヶ面山も眺望は抜群で、田子倉湖や浅草岳が良く見えるが、まだまだ遠く感じる。鬼ヶ面山から北岳、その先のムジナ



ナ沢カッチまでの尾根もヒメサユリの花が多く、ニッコウキスゲの花とのコラボはとても美しい。

ムジナ沢カッチのピークで休憩すると、急なアップダウンの連続でWさんの足が攣ってしまった。



SL と後からゆっくり登るように指示し、我輩が先頭に代わり前岳を目指す。途中で F さんの足も攣ってしまい、3名がゆっくり登ることになる。前岳に登りほんの少し下ると湿原になり、ネズモチ平や桜曾根コースからの木道と合流する。ここからは北西に守門岳が大きく聳え、すぐ目の前に浅草岳が見えている。雪渓を登り池塘がある湿原を横切ると、ほんのひと登りで浅草岳山頂に立つ。山頂からの眺望は雄大で、守門岳や御神楽岳、会津駒ヶ岳から燧ヶ岳、越後三山

等々360度の大展望が楽しめる。山頂で記念写真を撮り、ゆっくり展望を楽しみながら冷たいプリンを食べたのどを潤す。後から来る3名にTELを入れるが、中々繋がらない。

やっとTELが繋がりがり状況を聞くと、山頂は諦め撤退し北岳に向かっているとの事。我々も眺望を楽しんだら山頂をあとにする。少し降りた湿原の休憩テラスでランチタイムとし、キノコうどんを作っておにぎりと一緒にいただく。湿原のワタスゲや残雪の守門岳を眺めながら食べるランチは何よりも美味しく感じる。お茶を飲みながらデザートをいただき、至福の時間を過ごしたら下山する。

雪渓を下って前岳分岐まで戻り、分岐から往路を下って下山する。この時季としては最高の天気

に恵まれ、まだまだ遠くまで眺望が得られ気持ちよく下れる。ムジナ沢カッチから先は、ヒメサユリの花がさらに開いて多くなりニッコウキスゲとの競演は見事だった。鬼ヶ面山まで戻り休憩すると、女性グループから声を掛けられ「鈴木さんじゃないですか？」と・・・なんと去年韓国ハルラ山に同行した野木山想会の面々だった。しばし談笑し記念写真を撮ってあげる。先行して下山した3名から連絡があり、南岳に居ますとの事。



待たずに先行して下山するよう指示し、我々も下山する。

南岳から30分くらい下った所で先行する3名に追いついた。ここからは全員一緒に下り、マイクロ基地局で最後の休憩を取り、ブルーベリーやカステラを食べエネルギーを補給する。

皆さんさすがに疲れたようで、登山口に着くとホッとした様子だった。ポツカをしてくれたOさんと新人のKさんは超元気で、まだまだ歩けるほど元気な様子だった。靴を履き替えたら帰路につき、途中道の駅「いりひろせ」に寄りトイレを済ませ、冷たい飲料を飲んで水分を補給した。

関越道と北関東道とも順調に走り無事岩舟支所に帰着出来、念願のヒメサユリに出会え大満足の山行となった。